

特定非営利活動法人大阪マスターズ陸上競技連盟

第 35 回理事会議事概要

- 招集月日 2021 年 12 月 9 日（金）
- 開催日時 2021 年 12 月 19 日（日）13：30～16：40
- 開催場所 大阪市立難波市民学習センター 多目的室（アトリエ）
大阪市浪速区湊町 1-4-1 OCATビル4階（電話）06-6643-7010
- 理事総数 22 人
- 出席理事 21 人（本人出席；15 人、議決権行使者；6 人） 出席監事 2 人

会 長 椎木 茂久
副 会 長 赤峰フミコ、山中 保博
専務理事 池上 健三
常務理事 安達 芳恵、井指 康裕、小西 宏之、坂下 勝正、柴田 秀治、
理事 深尾 真美、藤田 幸久、並川 耕士、村井 正信
理事 大倉 節子、数野 哲也、神谷 亭市、津田 光央、鶴川 久寿、
理事 早川 禎一、松島 忠士、三宅 要、森井 正和
監 事 中澤 武、中島 静一

（注）氏名の下線は議決権行使者。氏名斜体は欠席者。

■議案の経過要領および議案別議決の結果

第 1 号議案 2022～2023 年度役員体制について

池上専務理事から、現任役員の状態、役員改選についての基本的な考え方、理事・監事、名誉会長・名誉副会長・名誉顧問・顧問の選出手順について具体的な説明がなされた。これらの提案・説明を受けて議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

第 2 号議案 2022 年度事業計画について

池上専務理事から、競技会などの大阪陸協および関係団体との日程調整の結果が説明された。また、大阪マスターズが 2022 年度は近畿マスターズ選手権および近畿マスターズ駅伝の当番県となること、東大阪陸協の OV30 記録会は、マスターズ会員の参加者が多いので 2022 年度も引き続き協力をしたい等の説明があった。加えて、競技ダイヤの過密状態を緩和するために競技会間で実施種目の調整を行い競技会ごとの特色が出せるようにしたいとの見解が示された。これを受けて、議長が 2022 年度の実業計画（競技会）について意見・要望等を募ったところ、次のような意見・要望が出された。

<事業計画（競技会等）について>

- 1. 10000mが予定されていないが必要ではないか？
 - ・6月5日の大阪マ記録会での実施を検討する。（池上専務理事）
- 2. ハードルの競技が少ないのではないか。
 - ・ショートとロングを同じ競技会でしなくても、ショートのみを行う方法も考えられる。（池上専務理事・山中副会長）
- 3. 近畿マ選手権で小学生規格のハードル競技はどうするのか。
 - ・過去の大阪開催では、奈良の競技場から借りて実施していたが昨今では、貸し出しが禁止されており他の競技場から借りてくるのは無理な状況にある。今年の兵庫の大会では、補助員の確保ができないためハードル競技自体が実施されなかった。今年は、競技場に備え付けの用器具の範囲で行うこととしたい。（池上専務理事）
 - ・小学生規格のハードルの備え付けがある競技場はあるのか。
 - ・万博競技場に小陸研が3レーン分預けているが9レーン分はない。（山中副会長）
- 4. 近畿マ駅伝はチップの使用は考えているのか。

- ・3月の近畿マ駅伝では、兵庫が導入を検討しているようであるが、今後、情報を収集する予定である。参加チームが少なければ費用対効果の面での検討も必要。(池上専務理事)
- 5. 跳躍の踏切の位置については、日本マスターズの競技規則どおりではなく、ローカルルールを適用しても良いのではないか。申込書へ踏切位置を記入してもらうことも徹底する必要がある。

さらに、①会計ソフトの導入、②会員登録システムの構築、③競技会エントリーシステムの構築、④ホームページのリニューアル、⑤専用パソコンの導入などの事業運営面でのシステム化を推進し、2023年度中をめどに導入を完了したいとの基本的な考え方が示された。

<事業計画(システム化の推進)について>

- 1. システム導入に関してはどのくらいの費用が必要か。

- ・導入するシステムの内容により大きく変わってくるために金額をここで確定することはできない。(池上専務理事)

- 2. ウェブエントリーなどのシステムに詳しい若い人を会員の中から探してはどうか。

- ・埼玉マスターズではホームページから会員登録と競技会のWeb申し込みができるようになっている。陸協も登録、競技会申込みとも従来方式との並行期間を設けるなどしてペーパーレスにしている。方向性は陸協と同じ。(池上専務理事)

- ・情報処理に来てもらっている糸原さんなどに専門委員を委嘱する予定。(村井常務理事)

これらの論議を受けて、議長が、2022年度事業計画についての賛否を諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

第3号議案 2022年度会報発行計画について

池上専務理事から会報発行計画について、2021年度版と同じく会報と競技会要項を分けて発行する(発行部数は860部、3月9日頃の発送を予定)。また、会報編集委員の分担案などについてなどが説明、提案された。これを受けて、議長が意見・要望などを募ったところ、特に意見・要望がなかったため、議長が2022年度会報発行計画についての賛否を諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

第4号議案 第28回近畿マスターズ駅伝について

池上専務理事から第28回近畿マスターズ駅伝について、日時、場所、種目、参加料などの説明があり、大阪マスターズ選手団の編成について提案・説明がなされた。また兵庫マスターズより、今回についてはコロナ禍であるためマスターズ登録をしていない選手もマスターズの部で出場できないかという提案があったと報告があった。これを受けて、議長が意見を募ったところ、次のような意見・要望が出された。

- 1. 兵庫マスターズの有力選手がマスターズ登録をしていないための特別措置を求めているのかもしれないが、ルールは厳正に守るべきである。

- ・ルール通りの対応をするよう近畿マスターズに要請したい。(池上専務理事)

これらの論議を受けて、第28回近畿マスターズ駅伝への選手団派遣についての賛否を諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

第5号議案 2022年度継続会員募集と総会について

池上専務理事から2022年度継続会員募集と、2022年度通常総会および2021年度事業報告(概況)の案内送付について説明、提案された。さらに2021年度大阪マスターズ会員登録状況について説明された。これを受けて、議長が意見を募ったところ、次のような意見・要望が出された。

- 1. 会費をWEBで振り込んだ場合、記入項目が限定され、氏名の表記だけになるケースもあると思われる。

- ・金融機関によって、記入できる文字数などの制限があるが、会員番号、氏名など必要事項の情報がわかるようになっていけば問題ないが、氏名のみ記載が多いのが実情。(池上専務理事)

これらの論議を受けて、2022年度継続会員募集と総会案内についての賛否を諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

その他意見交換について（議案審議終了後の主な意見交換）

- 1. 近畿マスターズの選手権のメダルをどうするのか検討が必要である。
 - ・近畿マ、大阪マ選手権とも課題である。(池上専務理事)
- 2. 次年度競技会の賞状は、最終種目を除いて当日配布のみとしたい。(池上専務理事)
- 3. 投てきの競技役員が集まりにくいので大阪陸協との協力体制を強化してはどうか。例えば、和歌山では陸協にマスターズから主管料を支払っていると聞いているが。
 - ・近畿のマスターズでは、和歌山以外に陸協に主管料を払っている例は聞いている。
 - ・跳躍・投てき関係の競技役員の殆どは高体連関係者で、競技会が多数あり、マスターズまで来てもらう余裕がないのが実情。陸協の審判部の定木さんや数野さんと連携しながら審判編成をしている。(村井常務理事)
- 4. 競技者受付係と競技者係との連携や、競技者の入場時間の規制、プログラム作成の際のコールの方法や時間の表記などを工夫する必要がある、コロナ禍での大会運営において混乱が発生しないよう今後改善策を検討する必要がある。とくに、競技者受付～競技コール方法については、ホームページのトップに掲載し、会報にも載せる等の周知が必要。また、競技役員やマスターズ理事の連携強化も必要である。
- 5. フィールド競技の日本新や世界新記録申請に際して、全試技の結果を記録表に記載するルールになっているので、試技ごとに鋼尺で測定する必要があるが時間を要するので、10月17日の大阪マ選手権で光波測定を導入した経緯にある。幸いにして9月5日の服部緑地の大会では日本新記録は出なかったが、大阪マ選手権では円盤投で日本新がでた。このため、服部緑地で行う記録会と大阪マ陸上の投てき競技では、砲丸投とその他の種目の組み合わせが必要になる。(池上専務理事)
 - ・投てき競技は100人程度の出場であれば、9時半競技開始なら時間内に競技を行うことができる。(森井理事)
- 6. 日本記録申請のための必要資料の確認の体制確保が必要である。大阪マ選手権では800mフィニッシュ画像の紛失、記録表の記入不備や署名漏れ等の事案が発生したので、記録係で体制を整えて欲しい。(池上専務理事)
 - ・体制を整えるようにする。(藤田幸務理事)
 - ・ゼロコン画像、フィニッシュ画像については、情報処理にも徹底する。(村井常務理事)
- 7. 9月の全日本マスターズのリレーの時のユニフォームはどうするのか。
 - ・斡旋しているユニフォームをリレーチームのユニフォームとする予定。6月23日に個人エントリー締め切り、リレーエントリー締め切りは7月22日なので、ユニフォームを購入してもらうか、当日、レンタルする方法を検討したい。(池上専務理事)
 - ・クレーマー・ジャパンのユニフォームは発注から納品まで45日程度必要。(柴田常務理事)
- 8. 参加料は1種目目；3,000円、2種目目；4000円ではどうか。(中島監事)
 - ・次回までにシュミレーションしてみる。(池上専務理事)